



# ちゅうりっぷぐみ通信

2019年 3月 第6号

暖かな春の風が吹き始め、お外で遊びやすい季節がやってきました。お兄さん・お姉さんのクラスからは、卒園式の歌が聞こえてきます。

2月16日(土)の保育参観では、お忙しい中でのご参加ありがとうございました。この1年間での成長をたくさん見ていただけたのではないかと思います。親子・友だちとの粘土遊び、とても楽しそうでした！

子ども達との残りの生活を楽しみながら、スムーズに新年度が迎えられるよう関わっていきたいと思っています。

## 1年間、ありがとうございました



進級当初を振り返ってみると、保育室や担任が変わったことで環境の変化に戸惑い、泣いて登園することが多かった子ども達。それでも、通園かばんや自分のロッカーがあることに嬉しさを感じているようでした。お昼寝にお遊戯室に入ることを怖がる子もいました。当たり前ではありますが、たくさんの方に保育士の援助が必要でした。少しずつ、少しずつ、子ども達それぞれのペースで自分でできることが増えていきました。

春、運動会の練習が始まりました。並んで待つこともままならず、並んで歩くこともとっても難しかったけれど、「アリさんのように」と絵本で読んだアリの行列の真似をしながら少しずつできるようになりました。子ども達だけの競技にも初めて出場。お遊戯もリレーもとても頑張りましたね。

夏、たくさんの夏ならではのあそびを満喫しました。プールあそび、水風船あそび、泡あそび、色水遊び、寒天あそび。プールではお水大好きバシャバシャチームと、穏やかに楽しみたいちゅぷちゅぷチームに分かれて遊びました。それぞれに水の感触を楽しんでいる姿が印象的でした。寒天あそびは保育士も初めての経験でした。カラフルな寒天の冷たさや感触を楽しみ、と

ても盛り上がりました。

秋、ハロウィンパーティーをしました！お面をかぶり、踊ったり、「トリック・オア・トリート！」と言ったりして楽しみました。クリスマス会の練習が始まりました。お遊戯と合わせて、楽器のリズム打ちの練習も行いました。ステージに上がった練習では固まってしまう子、前に出すぎてしまう子と様々でした。当日は笑顔で発表ができた子、泣いてしまった子がいましたが、練習も含め、それぞれがとても頑張っていた、100点満点のクリスマス会になりました。

冬、うがいとお箸が始まりました。うがいでは口に水を含むということが難しい子もいて、「教え方も難しいね」と担任同士で話したこともありました。お箸は予想以上の意欲を見せてくれました。苦戦しながらも、「自分で」という気持ちで使用しています。そろそろ、スプーンで食べようか…?!ということもありますが…(笑)

この他にもそれぞれのペースでトイレトレーニングを頑張ったり、自分の気持ちをことばで伝えられるようになっていたり、友達と一緒に遊ぶことができるようになっていたり、1年間でするようになったことがたくさんあるのだなあ嬉しくも、ちょっぴり寂しくもあります。顔つきもお兄さん・お姉さんになってきましたね。いつも元気で、頑張り屋さんで、挨拶が上手で、優しい子がたくさんのおちゅうりっぷ組。とても楽しい1年間でした！

保護者の皆様には、たくさんのご理解とご協力を頂きましてありがとうございました。



## おねがい

- 持ち物の名前が消えかかっていますか？
- 帽子のゴムは伸びていませんか？
- 着替え袋の洋服のサイズが小さくなっていませんか？

進級を迎える前に、確認をお願いします。